

いのちの森造り

第11回日中環境保全友好植林実践会報告



友好植林

美しい地球環境
を守ります。
子孫に自然を
贈りましょう。



特定非営利活動法人
日中環境保全友好植林実践会
平成21年7月15日発行
〒113-0034
東京都文京区湯島3-1-3 MSビル
TEL03-3836-9408
FAX03-3836-2489

植林は全てにおいて 良い事です

訪中団团长 水野産業(株)
水野 啓次郎



昨年十二月十七日、日本国政府環境省
より名誉ある環境大臣表彰を受けました。

私達植林実践会は中国東北部において皆様と十年間にわたる植林実践活動により地球温暖化防止に貢献した評価をいただきました。

そして本年四月、日中環境保全友好植林実践会は中国遼寧省岫岩県にて第十一回目の植林実施を皆様方のご協力によりまして、盛会に無事終了することが出来ました事を感謝いたします。

人間山ほどの財産、山ほどのお金があってもこれからは生きていけません。人間が使ったもの、食べ残したものをゴミとして捨てると、やがては腐って中にある水銀、蛍光物質、P.C.B等が魚、鳥、動物、植物の体内に入り、それらの魚、鳥、動物、野菜等を食べることにより人間も奇形児が生まれ早死にし、種が途絶えていきます。

綺麗な空気と綺麗な水が無くなってくると、種がどんどん減っていき、人間の食べる物もなくなっていくます。

そうならない為に私達は地球が喜んでくれる事、人間、動物、植物などが喜んでくれる事をしていきます。

お金も大事ですが、地球で一番大事な価値は全ての命を守る事です。その為においしい空気とおいしい水造りの為に植林をし、木が成長し、葉、枝、木の根が増え大きくなって、雨が降るとまず葉に水滴が出来、雨水が枝を伝って木の幹に流れ、地中の根に伝わり地中に雨水が入り、地下水となり地下の貯水池(ダム)が出来ます。この時、既に枯葉の養分を吸った雨水が更にと土の中で綺麗に濾過されておいしい水となり、山の湧き水として溢れ出、養分を含んだ水により、おいしい農産物や、海産物がとれるようになります。

植林によって山に降った雨が、一度に川に流れ込み洪水を引き起こすことなく、山に水が溜まり、水不足の心配もなくなり、植林することは全てにおいて良い事です。この良い事を多くの皆様が共有出来ますように、新規の賛同者を増やし今後も植林を継続しましょう。

参加された方々(敬称略)

- | | |
|-----------------|-------|
| 水野産業(株) (团长) | 水野啓次郎 |
| イデシキョー(株) (副团长) | 井出 芳則 |
| (株)京樽 (副团长) | 阿井 正夫 |
| (株)湧別商事 (副团长) | 小島 浩一 |
| (有)佐藤商店 (副团长) | 佐藤 博 |
| (株)まるき | 木下 淳 |
| 大連岩崎電気(有) | 山本 康晴 |
| (株)吉野家 | 森本 秀昭 |
| (株)吉野家 | 長広 尚之 |
| (株)京樽 | 後藤 文勝 |
| (株)日東ストローク商会 | 南啓一 |
| イデシキョー(株) | 米田 忠雄 |
| 陽明印刷(株) | 井出 貴臣 |
| (株)東京クイン | 新妻 康宏 |
| 東海林不動産 | 飯塚 正人 |
| (有)佐藤商店 | 東海林 強 |
| アオト印刷(株) | 佐藤 正勝 |
| 大阪シーリング印刷(株) | 鈴木 成史 |
| 大阪シーリング印刷(株) | 亀田 将史 |
| デンカポリマー(株) | 小林 将之 |
| 溝端紙工印刷(株) | 星野 芳樹 |
| 東商化学(株) | 船橋由紀雄 |
| 京葉流通倉庫(株) | 初鹿 誠 |
| 北越パッケージ(株) | 飯島 庸公 |
| 旭化成パッケージ(株) | 濱口 秋広 |
| ジョンソンデバシー(株) | 園田 亮介 |
| 補助工業(株) | 元田 真人 |
| 王子運送(株) | 鎌倉 弘宣 |
| 北京飯店京樽日本料理(有) | 吉田 祐介 |
| 三徳日中技術(株) | 冬文 徳麟 |
| 大連三和家庭用品(有) | 王 烈 |
| 水野産業(株) (事務局長) | 中田 勝幸 |
| 水野産業(株) (事務局員) | 葛西 武幸 |
| 水野産業(株) (事務局員) | 田 勝洋 |
| 水野産業(株) (事務局員) | 田 東鋒 |



参加された皆さまからすばらしいお便りが届きました！



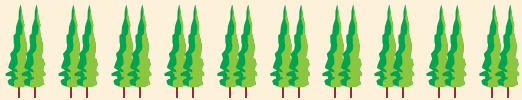
緑と青い空
副団長 イデシギヨイ(株) 井出 芳則

早いもので私の植林活動も今年で連続六回目となりました。参加のたびに植林地の住民や県政府の皆様は感激の度合いが増してきたように感じます。

今年の植林は水野理事長の発案により、植樹した木が成長したとき地域の人たちが楽しめるように、花が咲き実のなる木を優先的に前面に配置して、栗、杏、梨などの木を用いた事が大きな特徴です。事務局の報告で、過去十年間に植林に参加した人数は延べ三万三千人を超え、植樹本数も八十二万本を超えると聞き、継続してゆく事はとても大きなエネルギーを生むものだと感じ入りました。

植林地岫岩県とのミッションでは、来年が最終の五回目の植林活動となるに当たり、先方から植林活動の運営面での提案が出されました。

- ① 植林の運営を政府主導から民間へ
- ② 植林を始める前のセレモニーは必要か



③ 参加人数は数より質への転換というものでした。これに対し我々は理事会において熟慮する必要があると思いをします。

植林を終えた後、次期の植林地を求めて普蘭店市皮口港からフェリーで五十分の距離にある大連市長海県の長山島に向い、長海県の県長及び林業局のメンバーと会合の席で、熱いアプローチをかけられましたが、その内容面において理事会で充分に吟味する必要があると思いをします。

最後に大連から植林地までの移動時の間しか判りませんが、私の参加した六年間で最初の頃より木の数も増え緑が多くなりましたが、今回は青く見えるようになっていました。以前に比べ環境が少しずつ改善されてきていることを大いに感じましたが、私の自己満足かもしれません。他の皆様はいかがでしょう。



緑の歴史
副団長 (株) 湧別商事 小島 博

一九九九年に第一回目の植林から始まり、我々、植林実践会の活動は三箇所目の岫岩で第十一回植林事業を無事に終了することが出来ました。来年の第十二回目は岫岩で最後の植林になります。

会員皆様の総力を挙げて植林事業を成功させた植林地での更なる発展を実現したいものです。

去年に引き続き今年も大連岩崎電気有限公司の森本秀昭様と新しく理事長に就任されました山本康晴様の決定によりまして従業員一四二名と子供達四十六名で一八八名の皆様が五台の大型バスに分乗され参加して頂きました事は我々植林実践会にとりまして力強い限りでありました。

更に山本理事長様により来年の植林参加意向も頂きまして心から感謝いたします。植林実践会は大連市の水・空気・土地・海を守る為、遼寧省に特化して植林



更なる飛躍を目指して
副団長 (有) 佐藤商店 佐藤 浩一

今年もつつがなく第十一回目の植林を執り行う事が出来ました。こうして毎年中国で安心して植林が出来ますのは、岫岩政府と王志運さんをはじめとして準備してくださる方々のお力添えの賜物と存じます。毎年ありがとうございます。

さて、今年の植林には昨年引き続きまして大連岩崎電機様から社員とご家族の皆様が昨年来を大幅に上回る百八十八名の参加を賜りました。当会の理念に賛同していただきました森本前理事長様には改めて感謝せずにはいられません。

更に、新董事長の山本様からは懇親会の席上で「来年も是非参加させていただきます」

事業を継続しておりますが、大連岩崎電気有限公司様に続いて都市部の環境保全に協賛して頂ける大連日系企業の数多い参加を促す事が来年以降の目的であると思いをします。

植林実践会の緑の歴史は一年ごと確実に積み重ねてきており去年十二月十七日地球温暖化防止活動環境大臣表彰(平成二十年国際貢献部門)を受賞した事は地道な活動の証明です。

この素晴らしいボランティア活動に一人でも多く参加して頂けるように期待しています。

最後に扁桃腺の高熱により解団式に出られず非常に残念でした。水野団長はじめ井出副団長、阿井副団長、佐藤副団長、木下理事、中田事務局長おつかれさまでした。

更に全理事、水野産業様の事務局員参

きます」と言うたいへん嬉しいお言葉まで頂戴致しました。岩崎電機様のご参加は当会にとりまして大きな前進であり、中国での植林活動を広げていく礎であります。

岫岩での植林は今年で四年目ですが、中国同一地域での長期植林事業の難しさを感じました。二年目の植林活動があまりにもすばらしいのでしたでしょうか。ついついその時と比べてしまします。また来年も来たい」と思える実践会にする為にも参加されました皆様の率直な感想やご意見をお聞かせいただき、来年からの植林活動に生かしたいと思いをします。来

加されましたすべての方々に感謝いたします。来年の植林活動の成功を祈りつつ、ありがとうございます。



年が岫岩で最期の植林になりますが、それを踏まえて五年間の集大成となるように改善したいと思いをします。

すでにご存知の方も多くいらつしやると思いますが、当植林会は昨年十二月に地球温暖化防止活動の国際貢献部門で環境大臣表彰を受賞いたしました。

このことは小規模ながらも誠実に十年間継続してきたことが評価されたこと、非常に嬉しく思っています。

これを機に大連に進出しております日系企業様に向けて現地での広報活動に力を入れて、少しでも多くの賛同を得られるように二理事として頑張つて行きたいと思いをします。そしてこの植林会を通して隣人である中国との友好の輪が大きくなっていくことを切に願っております。私自身、仕事柄中国にご縁があること

から第一回目から参加しておりますが、中国の子供たちと一緒に植林を通して触れ合うことは、非常にすばらしく未来の日中関係において大変意義のある事だと思えます。この冊子を読まれた方々も来年は一緒にこの感動を味わっていただきたいと思えます。

最期になりましたが、今回の植林に参加されました皆様は心より御礼申し上げます。

ありがとうございます。また、来年の植林会でお会いしましょう。



合作合作

事務局、理事・参加者各位、そして何より中国の皆さんの協力を得て十一年間継続してきたこの植林事業。昨年末に平成二十年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰(国際貢献部門)という大変有意義な表彰を頂戴し、日本国家から言わば御墨付きの活動として印を得ることができた。植林の一日だけでは無い、我々の目に届くことのない地道な行動一つ一つの積み重ねが、ここに至ったものである。関係する皆さんには、この場を借りて、あらためて謝意を申し上げたい。

さて、物事を成し遂げるには、当然パートナーが必須であり、中国に於いては「合作合作」と言われる。「共に活動を進めるパートナー」の実力、事業との相性が問われると認識している。我々の活動も言わずもがなであり、今、岫巖の地で成功を遂げているのは、関係政府機関及び幹部他各位の尽力の賜物である。中でも、ここに特筆しておきたいのが、当初からの技術パートナーとして会を牽引下さる王志運氏、及び通訳もこなしながらも脇役に徹する阮樹安氏両名の無償の奉仕で



(株)まるき 木下 淳

ある。我々の意思を具現化し、日中・地球環境の将来への礎を築きあげることができているのは、御二人の知識・技術力に裏



付けられた行動力あってこそである。衷心より謝意申し上げたい。参加者皆が、我が事として喜びを分かち合える事業。未来永劫その意思を継続させる為に、今出来ること、自分ができるとは何なのか。研鑽を重ねる場に引きあわせてくれた縁に、偶然ではない必然性を感じずにはいられない。



福利厚生者の定例行事に

大連岩崎電気(有)

山本 康晴

第十一回日中環境保全友好植林実践会の植林活動に参加させていただき誠に有難うございました。今回は昨年に続き二回目の参加となります。昨年一・二八名の参加でしたが、今回は従業員その家族合わせて一八八名で参加させていただきました。

弊社のある大連市開発区は緑が豊富で大変きれいなところと想っていました。昨年初めて鞍山市岫巖の植林場所に訪れたときに感じたのは樹木の無い緑の少ない山々でした。

中国大陸は広大であることは判りますが、車で僅か三時間ほどの場所でもこれほど景色が変わるものかと感じました。

昨今の異常気象により日本では大雨による土砂災害がいつも報道されています。樹木がある日本の山でさえ豪雨による土砂災害が発生しています。樹木の無い山ではひとたまりも無いと思います。その



ために植林は大事な活動だと考えます。地球温暖化や世界の砂漠化に対する最も有効な活動をこれからも続けて参加させていただきたく願います。継続して参加させていただきたいのは、地球環境保護活動に加わりたいのも一つですが、弊社の福利厚生者の活動として定例行事にしたいのが一つ。この中国での植林活動が割り箸に関係する方が集まって始められたと知り、また九割以上が中国から輸入されていることを知り、私も長年に亘って割り箸を使ってきましたので、少しでも恩返しできればとの思いも一つです。今回は果実がなる木の植林でした。果実が実るころに訪れる機会があればいいなと思っています。団長以下関係各位、どうもありがとうございました。





環境教育効果

大連岩崎電気(有) 森本 秀昭

昨年度に引き続き、第十一回日中環境保全友好植林実践会の岫岩での植林ボランティア活動に会社行事として参加をさせて頂くことが出来ました。機会を与えて頂きました主催者の皆様に心よりお礼申し上げます。

昨年の感想文に「参加した弊社従業員やその家族から、他の人も誘ってまた来年も植林をしに行きたいなど自発的に言ってくるのを密かに期待しているところでは」と書かせてもらいました

が、願いが通じたのか幸い、昨年よりも五十七名多い一八八名の参加がありました。中でも子供が四十六名と二倍弱に増え、植林の意義と環境に対する教育的効果もあつたものと思われ大変頼もしく感じております。実は、地元大学生二名も参加して呉れており、彼女たちは普通ではとても出来ない貴重な体験が出来ましたと深い謝意を伝えて来ております。こうした輪が年々広がって行く事を強く期待しています。ありがとうございます。

使命感を持った組織の強さのすばらしさを体感

(株)吉野家 長広 尚之

今回、初めて植林事業に参加させて頂きました。

出発前に、この素晴らしい活動が昨年十周年を迎え、日本の環境大臣賞を受賞されたこと知りました。諸先輩方の苦勞をお察し致します。

弊社では第一回より毎年参加させて頂いていますが、次の十年に向けた第十一回の日中環境保全友好植林実践会に参加する機会を頂き、大変感謝しております。この五日間を通してミッション(使命感)を持った組織の強さを肌で体験させて頂きました。

人民政府県長の方々の熱烈歓迎ぶり、我々のバスを先導する公安の車、

朝六時から会場に八十分かけて歩いて集まった小中学生や、先生方、行く先々のそれぞれの地域のガイドさん達のご心配かしさと心根の優しさを感じる応対霧でフェリーが遅れた時もテキパキと対応されていた事務局、通訳の方々。

ベテラン参加者の皆さんは初参加者へ気軽に声を掛けて頂き、小さなアクシデントは笑い飛ばして道中和やかな雰囲気でも過ごせました。



それらや異国文化体験や企業の人材交流視点からも今後も弊社社員を継続的に参加させて頂きたいと強く感じました。国土の砂漠化が危惧される中国での植林活動で、今年初めて果樹を植えました。CO₂削減目的だけでなく収穫の喜びも味わえる果樹の植林はすばらしい企画だと思います。私は栗を中心に植えさせて頂きましたが他には梨、杏等、合計三万本になるようです。

民間のそれも個人が出来ることは限ら



れていますが回を重ねる度に更に中国との良好な関係を築いてゆけるよう微力ながらお手伝いさせて頂きたいと思えます。水野団長をはじめ、今回ご参加頂いた各企業の皆様、現地関係者の皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。

この事業の重要性を実感

(株)京樽 南 啓一

今回、日中環境保全友好植林実践会に参加させて頂き、誠にありがとうございました。この事業を通じ、植林のみならず中国という国に触れることができたことは、大変有意義なものとなりました。

大連の高層ビルや多くの自動車は発達した都市そのものですが、反面、郊外に向かうと緑のない荒涼とした風景が続く。中国の砂漠化現象が進行していることを、改めて認識しました。この植林事業が少しでも砂漠化を抑制することに貢献できれば、と切に思わざるを得ません。

植林地における自治政府関係者、地元小中学生やその家族の人々から受けた歓迎ぶりは驚くばかりで、この植林事業への期待を物語るとともに、実際の植林作業では、この方々と一緒に植林作業を行



うことで、一層この事業の重要性を実感した次第です。私にとつて、このような経験は今までもなく、大変有意義なものとなりました。事務局の方々ほか、関係者の皆様に心よりお礼を申し述べたいと存じます。ありがとうございます。

抱きしめたい衝動

(株)吉野家 後藤 文勝

植林前に公安当局の警護付で東山公園にて過去十年の植林を振り返るパネル展示を前に実績の重みを感じ、中国人民の期待に応えなければならぬとテンションを上げてバスに乗り込んだ。

バスで移動し現地到着し下車後、セレニー会場入り口に小中学生九〇〇名整列し出迎え、少女に胸にリボンをつけてもらい手を(冷たかった)つないでセレニー会場迄入場。植林地丘陵に数段に別れ強風の中旗を振り支える子供達百名、長靴・手袋(軍手でなく生地薄い)・スコップ(日本式と違い取手がなく使い難い)支給される。

事前に指定場所に現地の方が三十cm四方で深さ十五cm程度を掘ってあるも、植樹する根の深さまではいたらぬため中国式スコップで掘る作業が石や土の固さで体力を使いました。

水野団長発案で経済性ある果実を植林。子供達も二人一組で手伝うも早朝七時学校集合(自宅から一時間徒歩)植林会場までさらに徒歩一時間で疲労感ありベクトルで水分補給し、十本植林。

植林終了後、記念碑前で写真撮影(記念碑裏面に参加者名彫られてあるも、自分の氏名は無かったのが残念)

三々五々、バスに向かう途中地下水を汲み上げて溜めている場所に遭遇。高速鉄道と道路建設の事前地質調査とのこと。午後には林業部隊五〇〇人で植林補修と散水および残りの木を植えるとの由。バスに乗車、ホテルに戻る途中徒歩で帰る子供達の脇を通過した際の後ろめたさを感じてしまう。(後で聞いたら他の参加者も抱きしめたい・何か渡してあげたい衝動を共有していたことに感動)

植林後に水野団長より「十年間の植林で蓄積したこと、環境緑化と環境改善木を植え洪水と砂漠化防止から伏流水とともに川に流れ、海の魚のえさになるプラントンを増やし小魚から大きな魚・人間という循環に不可欠な事業です。」

阮樹安氏(遼寧省経済林研究所)は「環境意識を高める。日中友好を高める。植林面積を増やすことが重要。降雨量が少ない場所では地質・気候に合う種類の植林が必要。植林後の保守(散水等)が重要。百年後伐採できることが理想。」との言葉。今回の植林の実感には民間で植林地手配(選定・人員・苗手配・保守等)をすることは現地政府の助力なくしては不可能だと思います。

後日のホテルで既さんより「貧富の差があることは事実であり、植林も重要だが、現地への投資と往來の活性が優先度が高い。水野団長提案の果実の木は五年程度で収穫可能でありよい提案だが、植え付け可能な場所が限定されます。」との言は重く、我々はずっと活動しなければならぬことを認識させられた植林でした。



植林は永遠に

株日東ストローク商会 米田 忠雄

今年も私にとって一大事業である植林が成功のうちに終わりホッとしております。

日中友好植林に参加させていただくのも六回を数えました。初めは「お付き合いい」と軽い気持ちで参加したのですが、回を重ねるごとに地球温暖化に対して植林がいかに大切であるかを実感しております。

また、昨年十二月十七日に当会に対して環境大臣より、地球温暖化防止活動環境大臣賞 国際貢献部門の表彰をされたことは、水野理事長はじめ参加会員全員の十年に亘る活動が評価されたこと、大変嬉しく感慨もひとしおです。

現代は人間の様に動くロボットができ、殆どのことを機械が人に取って代わっている時代です。それに対して植林は、人間が愛情を込めて汗を流して一本一本手作業で植える大変な作業です。しかしその意義をしっかりと心に留めながら永遠に続けていかなければならないと感じて

おります。
来年の植林での再会を楽しみにしております。



毎回参加の決断

イデシギヨ一株 井出 貴臣

第十一回日中環境保全友好植林実践会に第十回と連続して二回目の参加をさせて頂きました。今回三十四名の各企業様からの参加があり、また若い年代層の方々も多く見られました。各参加企業様も中国北部・内陸部の砂漠化、そして黄砂という問題を真剣に捉え、環境破壊を止めたいという思いがあると感じられました。大連空港からバスに乗り約四時間北上し、車窓はまず大連市内のマンションやビル風景から市街地の山・農村風景、そして目的地である岫岩近郊に近づく風景はそれまで見ていた山・農村が全く別な物となり、枯れ果てた農地・緑の無い土色の山、そしてそこに住んでいる住民も土埃で汚れた顔をしており、見える視界を色で表すならば茶色の世界が広がっております。前回参加した時にもその風景に衝撃を覚えたのだと思いますが、一年間で薄れていたのだと思いますが、再度胸が痛くなる思いを痛感致しました。そして同時に、今年は昨年よりも一本でも多くの木を植えようと強く心に誓い初日の結団式を行いました。

二日目、植林予定地に到着すると現地の小中学生約八〇〇名が盛大に出迎えてくれました。会場入り口へ行くと私達参加者一人一人に手作りの花のコサージュを胸に留めてくれ、またその子と手を繋いで会場の中まで列になって歩きました。私が手を繋いだ六、七歳の女の子の手は子供の柔らかいムチムチした感じではなく、シワシワでゴツゴツした真つ黒い手で、子供の手と思う事は出来ないものでした。

きつと小さい頃から畑仕事の手伝いをしており、生活は極寒の寒さを暖房器具無しという環境で暮らしているのだろうかと思いがこぼれる想いであります。歓迎セレモニーを盛大に行い、いよいよ植林作業です。



イデシギヨ一株 井出 貴臣

今年から水野団長が実のなる樹木も植えようとの一声により、今回、初回となりますが試験的に梨・杏・栗を合計三〇〇本植えました。その他にはキバム(日本名・キハダ)を約十本植林致しました。私達三十四名の参加者は実の生る樹木の植樹となりましたが、持ち手の無い一本体のスコップを持ち、長靴を履き、おしい実を沢山付けてくれる様に願いを込めて時間終了まで汗かきながら植えました。キバムに關しましては、今年植えられた木々が山を覆い尽くす森となる様にと願っております。

今回の第十一回日中環境保全友好植林実践会に参加し、何よりも感動したものは、水野団長の言葉でありました。その言葉とは、「山ほどのお金より、自分達・未来の子供達・そして全ての生き物が、環境破壊によって絶える事が無く生存し続ける事が出来る環境保全の活動の方が、よほど意味があり価値のある事である」でありました。

その時の衝撃を言葉で言い表すのは難しく、今後は水野社長と初めて同行させて頂き誠にありがとうございます。第九回の時に比べて、人数的には少なく感じましたが、植林の規模はかなり勝っていたように思います。



身体の続く限りお供させていただきます

陽明印刷株 新妻 康宏

げます。



いのですが、とてもすばらしい一言であり、私の中に何か奮い起こるものを感じました。
この様な気持ちを持たれております水野団長が指揮を取っているこの植林活動に参加させて頂いて、私自身もとても光栄であります。
平成二十年十二月には、この活動が環境大臣賞を受賞した事も耳に致しました。それは、日本人としてとても誇らしい活動に参加させて頂いている事だと実感致します。
今後、毎回この環境保全の活動に参加させて頂きます。
最後に、水野団長、事務局理事の皆様、そして参加された皆様お疲れ様で御座いました。



みにしてきます。
最後になりましたが、事務局の皆様、また、参加された各企業の皆様、こんなにも素晴らしい体験をさせていただき本当にありがとうございます。この活動の益々のご発展をお祈りし、また機会があれば参加させていただきます。ありがとうございます。



人と地球と未来 大阪シーリング印刷株 小林 将之

今回初めて日中環境保全友好植林実践会に参加させて頂きありがとうございます。初めての中国は色々な意味で印象に残るものになりました。

大連空港からバスに乗り、風景を眺めながら感じたことは「寂しい」という感情でした。抽象的な感覚ですが、それは土地の広さ、人間の活気性、緑地の無さ、昆虫類や鳥の鳴き声など、日本で当たり前の様に感じていることが全く感じられなく、それだけで「寂しい」という感情がこんなにも強く心に響くのだと改めて感じました。

植林活動については初めての経験で出来る限りたくさん植林しようと思っ張ってみましたが結構大変な活動であつという間に時間が過ぎてしまいました。木々一本一本に色々な思いを込めて植林させて頂きましたので、少しでも「寂しい」という感情が湧かないよう、新しい命の架け橋となつてもらえればと思います。きれいな水、空気、土が地球上に当た



り前のようにある為には、まず植物が当たり前の様に生え繁つていことが重要であり、その為には人間が当たり前の様に自然を大切に生き方をすることがさらに重要だと思ひます。

植林活動を通して様々な意見交換や現地調査を行ったことにより、植物や動物が豊かで活性があることにより、始めて人間も豊かになれるのだと思ひ知らされました。まずは日本で自然に對し出来ることを少しずつこなしていきたいと思ひます。本場に今回の活動はすばらしい経験となりました。ありがとうございます。



植林活動から得た日中友好 デンカポリマー(株) 星野 芳樹

植林どころか、普段土にも触ることの無い生活を送っていた私が「日中環境保全友好植林会」に参加し、生涯忘れられない貴重な体験をさせて頂きました。

海外への渡航歴はけっこうある方ですが、社会主義国への訪問は今回が初めてで体制の違いや文化、価値観の違い、また訪問先の岫岩や長海県はガイドブック

にも載ってなく出発前は「えらい所へ行くことになった」と正直なところ頭が重い日々でした。

寒い北の国を想像していた私は大きめのスウェーデンにコート詰め込み、寒さ対策万全で大連周水子空港に降りたところ、気温は二十度、二十五度と非常に暑く、改めて地球温暖化が進んでいる事を実感しました。

岫岩の結団式で岫岩県人民政府要人、その他関係者による手厚い歓迎には中国人の心の広さ、おおらかさ、優しさが伝わってきました。また、白酒の「洗礼」もすっかり受けました。

二日目の植林当日、セレモニーでの圧倒的な人の数、素朴な小中学生が私たちの手を繋いで会場までエスコートしてくれた光景は今でも懐かしく思い出されます。これだけの人が植林を通じて日中友好の為に汗を流すことの素晴らしい意義は、体験しなければ分からないこと



岫岩を再び訪れて 溝端紙工印刷(株) 船橋 由紀雄

第十一回日中環境保全友好植林実践会の記念式典に参加させて頂いた大きな難うございました。世界規模で地球環境、特に植林の重要性がより理解され又関心も意識も高まり、三年ぶりですが実践会に加われたことを感謝しています。

ここ岫岩県は第八回以来二度目の参加となります。前回のプラスバンド等々の派手な演出は無かったですが親懇会、セレモニー等々において、何か親しみのある隣人友人に接している印象を受けました。

寄贈する苗木がなせ栗、梨、杏なのかと思ひましたが岫岩にも日本の里山との思いでの企画と聞いて納得しました。何年か後にこれらの果実が実ることを想像しますと心が和むような気になります。この場所に人が集まり、日本の友人と昔一緒にこの木々を植えたとかの思い出話などしながら楽しんで花見などしてもら

と思います。苗木を植えた本数は少なかつたですが、自分としては懸命にスコップで穴を掘り地元の子供達と「日中友好植林」を実現したこと、大変貴重な体験として良い思い出となりました。

また、岫岩や長海県などの風景、農家の建物、人々の生活などを見て都市部との格差社会の現実を目の当たりにし、真の中国の姿を見た気分になりました。

今回の植林活動において、言葉はうまく通じなくとも一つの物事に一緒に取り組むことでいくらかでもコミュニケーションは取れ、互いの気持ちも伝わるということが実感出来ました。

大変素晴らしい体験をさせて頂き、団長、事務局長、スタッフの方々にお世話になりましたこと深く御礼申し上げます。機会がありましたら、また是非参加させて頂きたいと思ひます。

このすばらしい日中友好の架け橋である植林事業が今後も継続され、もっと広



まることを期待します。そして木の生育を見にいつか岫岩へ再び訪れてみたいと思ひます。
有難うございました。

地の東京城も育っていたと、木下様からお聞き非常にうれしく思ひます。実践会の植林事業に三回目の参加の私ですがこの実践会の活動を通じ少しは環境活動に役立てたと自分では実感しています。

これからの日中環境保全友好実践会が新たな歴史を作り、発展継続し、まだ時間が懸かるかも知れませんが中国側に理解され環境問題を通じ中国に友人がたくさん出来て日中友好に役立っていただければと思ひます。





非常に充実した時間
東商化学(株) 初鹿 誠

この度、第十一回日中環境保全友好植林実践会に参加させていただき有難うございました。私自身としては初めての参加となりました。

大連空港から植林地である岫岩県まで約四時間の移動中のバスから見る景色は山の木々が非常に少なく、黄砂の影響なのか暗れているのにスモッグが掛ったようでした。

また、都市部である大連から離れるにしたがつて貧しい民家が多くなり、生活水準の格差を感じ、私の心にとっても印象深く焼き付きました。

植林当日は地元の方々に熱烈な歓迎を受け、地元の子供と手を繋いで入場しましたが、非常に可愛らしく、なんだか照れくさくもありましたが幸せな気持ちでいっぱいになりました。



未来への財産
旭化成パックス(株) 園田 亮介

この度は第十一回日中環境保全友好植林実践会に参加させて頂き、有難うございました。皆様方にはご迷惑お掛けし、時にはお助け頂きながら、道中無事に過ごせた事、誌面を借りまして厚く御礼申し上げます。

私は今回、植林活動も初めて、中国への渡航も初めてであり、特に中国へ降り立つてからはカルチャーショックの連続でした。植林地への道中、昨年の悪路が舗装されて綺麗な道になっている等、急速に開発が進んでいると感じましたが、都市部、農村部どちらも緑がほとんどない風景が続き、非常に驚きました。話には聞いておりましたが、現実目の当たりにすると、「環境」が深刻な問題であると痛感致しました。また本植林活動の意義、



植林継続の重要性
ジョンソンダイバーシー(株) 元田 真人

この度は第十一回日中友好植林に参加をさせて頂きありがとうございます。今回で二回目の参加となりますが、昨年同様まだまだ植林を続けなければならぬ使命感をまじまじと考えさせられました。北京オリンピックが開催され、中国の一部地域の活性化・インフラ整備が進んでいるとはいえ、緑無き禿山が続く光景はやはり悲しいものを感じました。

岫岩県での植林実践会は今年で四回目とお聞きしましたが、まだまだ植林すべき山々の多さには今年も驚かされ、「今後も継続して続けていかななくては」と考えさせられました。現地の子供たちとのコミュニケーションは身振り手振りでしたが、参加された方々皆が植林に汗を流し、中国・日本の共同作業ができたことは本当に喜ばしく、事務局の方々の並々ならぬ準備の賜物を感じ大変感謝いたします。



目的、必要性を改めて認識致しました。当日の植林活動では地元の中学生の熱心な歓迎と人数の多さに驚きました。言葉こそ通じませんが、一緒に植林する事により身振り手振りでコミュニケーション取る事も嬉しく思いました。今ま

で環境活動というものを具体的にやった事の無かった自分にとっては非常に有意義な体験ができたこと大変感謝しております。今回植えた樹木が栗や杏などの実のなる経済樹木ということで将来の成長が非常に楽しみでもあります。日本に戻ってからも「環境」を常に意識した行動を心掛けていきたいと思っております。ありがとうございます。

昨年は日中友好植林実践活動が「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞したとの大変喜ばしいお知らせも頂戴し、第一回から参加をされてきた諸先輩方々の功績が実を結び今後の実践活動にもますます拍車がかかると思われます。やらされているのではなく、自主的に異業種が集まり、一つの目標に向うことの大切さ、継続することの難しさを乗り越えた結果であり本当に頭が下がります。

今年も果実の木の植林がなされ数年後に色とりどりの森となり、日中友好の証が残る事を切に願います。山々の景観が変わり現地の方々の喜ぶ顔、ゆくゆくは岫岩県の特産物となり地域の活性化にも貢献できればうれしいですね。また自分の目でその状況を確認できれば大変大きな感動となるでしょう。今後もこの植林実践会は継続されていくと思われませんが、



来年決定予定の岫岩県以外への波及効果と参加者増を切に願います。最後に、昨年同様事務局・並びに関係者の方々に大変お世話になりましたことを深く感謝申し上げます。植林実践会が今後も末永く継続されることを期待し結びにさせていただきます。ありがとうございます。



素朴な小・中学生
福助工業株

鎌倉 弘宣

第十一回中国植林事業に参加させて頂きまして誠にありがとうございます。私は二〇〇五年の第七回の黒龍江省東京城での植林以来二回目の参加で、この様な有意義な活動を二回も経験出来た事たいへん感謝しております。今回も水野団長をはじめ理事の皆様、また参加された皆様のおかげで無事に終える事が出来ました事かさねて御礼申し上げます。

前回の植林では北京経由でハルビンへ、そこから汽車で牡丹江へそこからバスで植林地である東京城に入ると言う日程で中国へ入ってから飛行機・汽車・バスを乗り継ぎ三日目ようやく到着しましたが、今回は飛行機とバスで初日から植林地である遼寧省鞍山市岫岩県に入る事が出来、移動は前回より随分楽でした。また気候も寒さを予想していましたが、天候にも恵まれたいへん良かったと思います。



実践する大切さ

植林実践会

王子運送株 吉田 祐介

この度は、「日中環境保全友好植林実践会」にご一緒させて頂き有難うございました。

昨年に引き続きこの会に参加させて頂きいただきました。

昨年は急な代理出席であった為、ただ一緒に参加した子供たちの勢いに押されながら、あつという間に終わってしまっただけでしたが、今年は昨年の反省を踏まえ落ち着いてじっくりと植林が出来たと思っております。

昨年も思ったのですが、地元の熱心な歓迎を受けますと、この植林活動が地元の人たちから期待されているのが肌で伝わってきます。

私は中国に駐在しておりますが、最近よくテレビで政府主導での植林の宣伝や

今回の植林地の岫岩は始めてですが、中国の地方都市と言う感じで前回の東京城と比較すればかなり都会ではあります

が変わらないのは植林を一緒に手伝ってくれた現地の小・中学生の素朴な所でした。我々が植林地へ到着するかなり前に到着し暖かく我々を出迎えてくれ、手をつないで会場まで案内してくれました。その後式典の後に地元の子供達と一緒に言葉は通じませんが、今回も一番印象に残りました。植林をしながら環境問題への取り組みはこの様な地道な活動一つ一つの積み重ねが大切であるとあらためて痛感いたしました。今回の植林の中で一つだけ残念であったのは、植林を手伝ってくれた小・中学生との交流の時間がもう少し有れば更に良かったと思えます。またチャンスがあれば是非参加させ

様子が報道されています。たくさんの人たちが樹木の大切さ、森からの恩恵を理解して植林活動の必要性を感じていると思えますが、なかなかそれが実行できず、そのためテレビなどでみんなの奮起を促しているのだと思います。

その中で有志者各位が自ら参加して、また長期にわたり活動している『日中環境保全友好植林実践会』は非常に有意義な素晴らしい活動であると思えます。今回植えた樹木が、数年後葉を青々と茂らせ、果実を実らせることを期待しています。私自身今後も出来る限り参加させていきたいと思います。またこの活動が絶えることなく末永く継続されますことをお祈り申し上げます。

最後に、水野団長を始め各役員の方々、

て頂きたく思います。最後になりましたが今後ともこの会の益々のご発展と継続的に植林活動を実施される事を祈念いたしております。



参加者の方々にいろいろお世話になりました。ありがとうございます。



植林の衝動に駆られ

水野産業株 葛西 勝幸

この度、日中環境保全友好植林実践会に参加させて頂きまして有難う御座いました。

私にとっては中国へ訪れる事自体が初めてであり今回の参加が決まった時は正直、不安な気持ちで先行してました。しかし、この植林の意義を考えた時にそれは不安から前向きな気持ちへと変わっていききました。何故なら地球を取り巻く環境は悪化の一途を辿っておりそこに暮らす私達には地球環境を守る義務があると考えたからです。

訪れる前の中国のイメージは北京五輪を機に急激な発展を遂げ活気の満ちた国、そして国土面積が日本の二十五倍もありとにかく広大な国であるという事ぐらいでした。大連空港に降り立ちすぐにバスで四時間かけての移動の中で窓から見える景色は私の住む北海道と似ているのですが何か物足りません。果てしない平野の景色の中に民家があり、人々がその大地で作業に従事している様子も北海道の風景とほとんど変わりません。ただし、その大地の色を除いては、そこに広がる平野の色で表せば黄色、あるいは茶色で

あり、北海道ですぐに思い浮かぶ緑を確認する事は叶いません。目の前を通り過ぎて行く寂しい大地を見ていると今直ぐにでも植林をしなければならぬ衝動に駆られました。

次の日の植林地で地元の子供達が待っていてくれました。その子供達との植林は非常に有意義な体験で、言葉は通じないものの苗木を持ってきてくれる子供達の表情は穏やかで特に澄んだ目が印象的でした。そんな子供達が住む中国、そして世界の自然環境は守らなければならぬと改めて思いを強くしました。気付けば訪れる前の不安な気持ちは何処かへ消し飛んでいました。確かに日本と中国には過去に不幸な事がありました。私達は前を向いて生きていかなければなりません。現地で体験する事によりこの日中友好の植林の意義の大きさを改めて痛感しました。いつか、この中国の大地が緑であふれるよう願わずにはいられません。最後に今回参加された皆様、関係者の皆様へこの場をお借りしてお礼申し上げます。

本場に有難う御座いました。





変わらない気持ち

水野産業株 黄 洋

私は三年振り・三回目の参加でした。初心に戻るつもりで、また有意義な体験ができ非常に満足しております。

われわれの活動が地球環境のためだけでなく、就労の場が乏しい農村部の住民に、苗木の育成や植えた木の管理などの仕事をお願いすることで、現地の人々の安定した生活にも繋がる重要な取り組みでもありました。最近、都市部と農村の間での貧富の格差は中国国内で社会問題に発展していますので、植林を通じて少しでも農村の方々に貢献できたらと思います。

久しぶりに現地の子供たちと一緒に手分けし植林活動を行うことができたのは



とても嬉しかった。気持ちは初回の植林のように「新鮮」でこの活動に対する思いはまったく変わらなかったとほっとしました。

また、忘れてならないのは、現地の村人やスタッフが、何十倍も手間をかけて我々を迎え入れてくれていたということです。その中で、微力ながら日中の間で少し架け橋的な役割を果たせたことを素直に「よかった!」と感じております。



明るい人類の未来

水野産業株 田 東鋒

私の植林活動は今年で四回目、四年連続事務局員として参加しました。一見すると回数が多く見えますが、参加者の方々の中に十回以上参加された方も多くいます。私と比べたら植林の長者と言えます。毎回の植林で違う感動を味わいます。今回も相変わらず感動しました。初回参加の方も毎回参加の方も皆、今回は色々なことを克服しながらこの植林事業へ貢献していると感じました。

皆様ご存知のように、今年には金融危機の関係でほとんどの会社が例年ほど景気は良くありません。植林事業はそもそもお金がかかることです。植林前の参加者募集の時、今年は参加者が何人くらい集まるかなあと心配しました。しかし、出来上がった参加者名簿を見ますと、例年の植林活動で友達になった方々の名前は全員揃って一人の欠席者もなく、その上、大勢の初参加者名もあり、この植林活動参加者名簿からは金融危機の陰影

が全く見えず、見えたのは皆様の地球環境保護への熱意だけでした。

そして、いつもと同じ緊張する事前準備、興奮する出発を経て参加者の方々と植林現場で相まみえました。今年私は植林のカメラマンを担当しました。皆さんは一生懸命樹木を植えるばかりで、お互いの姿を見ていなかったでしょう。カメラマン職のお陰で、じっくり一人一人の姿を見ることが出来ました。汗を流して植林するのは当然なこと、汗を拭く暇もなく、額から顎まで汗を流しっぱなしの方、タオルを持っていない、自分の裾で子供のように汗を拭いている方もいました。初春の風はまだ冷たく感じる四月、皆さんはまるで真夏にいるように見えました。この瞬間、国境が見えなくなり、政治も経済も見えなくなりました。私に見えたのは明るい人類の未来です。皆は地球を保護すると言っていますが、地球としても自分を保護してくれる人々を尊



敬しているでしょう。この好循環がこれから我々の子孫をほんとうの幸福に導くでしょう。

有意義な時間はいつも早く経ちます。今年の植林は既に終了しましたが、今後でもできればこの有意義な植林事業に続けて参加したいと思えます。また、私は中国人です。中国人として、皆様が遠く日本よりわざわざ中国へ渡り植林していただいていることに、心より深く感謝申し上げます。皆様の植林事業は、地球環境改善だけでなく、中日友好の架け橋にもなります。この植林事業は永遠に続けるよう、心より願っております。

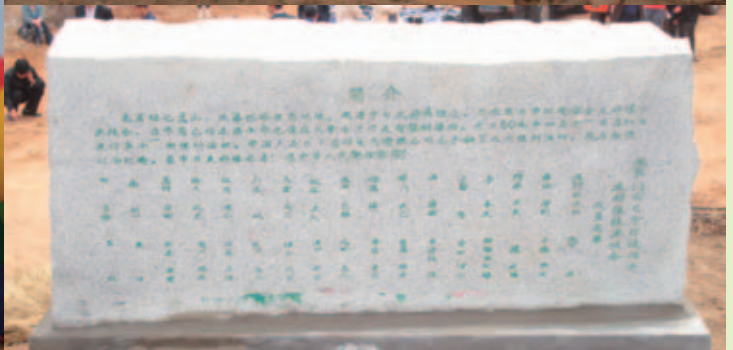
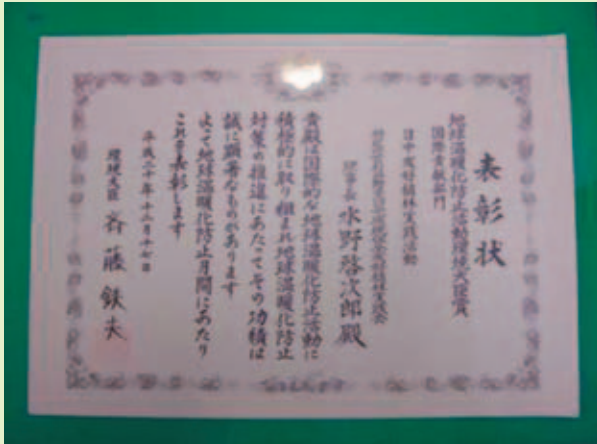


大連岩崎電気有限公司の皆様

現地でお世話になった方々

李宝承 縣政府人民代表大会副主任
 商大順 縣政府副縣長
 高軍官 縣政府副秘書長

王志運 岫岩縣貿易促進會副會長
 王玉波 岫岩縣林業局林科所秘書長
 阮樹安 遼寧省經濟林研究所



会員及び寄付募集のご案内

設立趣旨書

(平成16年8月4日認証)

昨今地球を取巻く環境は、先進諸国の産業の発達と、発展途上国による急激な経済活動の活発化とともに悪化の一途を辿っています。

酸性雨、野生動物の減少・生態系破壊、温暖化現象、オゾン層破壊、森林破壊、砂漠化、海洋汚染など様々な要素が絡み合って環境悪化を招いております。

特に最近では地球温暖化による様々な気象その他への悪影響を懸念する専門家の声が増しに拡大しており、京都議定書に象徴されるように、各国がその悪影響を認識しCO₂の削減目標数値を具体的な形で上げるなど、地球環境を守るうとする国や人々の意思が増大しております。

我々地球に生き、生活している以上、未来永劫子々孫々のためにも住みやすい緑豊かな地球環境を守る義務があります。

CO₂の削減には、様々な産業活動での排出規制も大事ですが、植林などによる森林の増加は、一方で多様な地球環境保全効果が絶大であると言われていることは周知の通りです。

日中環境保全友好植林実践会はこれまで、緑豊かな森林が地球に及ぼす好影響と、日本でも多く消費される割箸などの原料としての木材の正しい供給を踏まえ、森林破壊が懸念される中国での植林の実践を通じ、地球環境保全と緑化増進に寄与するため過去5年間に渡り中国黒龍江省饒河県にて計50万本のカラマツ等の苗木の植林事業を実施して参りました。

そして今後も、中国北部の緑化のための植林事業を推進すること等により、環境の保全に寄与することを目的として特定非営利活動法人日中環境保全友好植林実践会を設立します。

主な事業

- 中国の緑化推進のための植林事業
- 中国の緑化推進のための植林事業の広報誌などによる普及啓発事業
- 中国の緑化推進のための森林保全に関する調査、研究、情報収集事業
- 中国の緑化推進のための地球環境保全・改善事業
- その他目的を達成するために必要な事業

お申し込み方法

会の所定用紙(申込書)に必要な事項をご記入の上、FAXまたは当会ホームページのE-メールにてお申し込み下さい。会費は、右記口座あてお振込みくださいますようお願いいたします。なお、お振込み料金は、貴台にてご負担いただきたく存じます。

お申込書

個人正会員 団体及び法人正会員 寄付

お申込日 | 平成 年 月 日

フリガナ | _____ 業種

お名前 | _____

〒□□□-□□□□

ご自宅住所 | _____

電話番号 | _____ FAX番号 | _____

〒□□□-□□□□

勤務先住所 | _____

勤務先名 | _____

電話番号 | _____ FAX番号 | _____

E-mail | _____

会費

個人正会員	10,000円(1口/1口以上)
団体及び法人正会員	50,000円(1口/1口以上)
寄付	3,000円(1口/1口以上)

●FAXにて、下記番号あてにお申し込み下さい。

FAX番号 03-3836-2489

●お振込先

会費は下記口座あてお振込みくださいますようお願い致します。
なお、お振込み料金は、貴台にてご負担くださいますようお願い致します。

お振込み先	三菱東京UFJ銀行 秋葉原支店
口座番号	普通預金 3951682
口座名義	日中環境保全友好植林実践会 事務局長 中田 武巳(ナカタ タケミ)

●ご連絡先

特定非営利活動法人 日中環境保全友好植林実践会事務局
TEL 03-3836-9408 URL <http://www.syokurin.com>
E-mail: info@syokurin.com

編集後記

第11回日中友好植林は今年4月11日に行われ、日本からの参加者は34名、現地参加者は小・中学生800名と現地の住民や企業、林業局関係者や大連岩崎電気様一行188名を含め合計約1,500名でした。

今年の植林場所は高速道路料金所のすぐ傍にあり、樹種は杏、梨、栗の300本とキバム(キハダ)を含め計30,000本を植えました。参加した小・中学生たちは自分たちの住居から片道80分の道のりを、健気にも徒歩での参加と聞き、セレモニー前の熱烈歓迎や更に植林作業時の無邪気な顔を見て胸を打たれたことを、投稿された皆様の記事のほとんどで見ることができました。

植林後のセミナーにおいては、日中双方のこれまでの植林に対する意見や思い入れ、今後の運営に対する改善点など様々な前向きな意見が述べられ、とても充実した第11回日中友好植林活動となりました。

(事務局長 中田武巳)

